

令和6年度 水稻の生育情報 No.1

令和6年6月3日
農業経営課

1 気象概況

4月は平年に比べて、著しく高温で推移しました。

	< 4月の平均気温 >	< 5月の平均気温 >
岐阜市アメダス	17.6℃ (平年比+3.1℃)	19.6℃ (平年比+0.2℃)
恵那市アメダス	15.2℃ (平年比+3.3℃)	17.5℃ (平年比+0.5℃)
高山市アメダス	13.6℃ (平年比+3.9℃)	15.9℃ (平年比+0.3℃)

2 生育概況

表1－水稻の生育状況 (令和6年5月10日時点)

品 種	田植時期	生育ステージ	項 目	生育状況	参考 (6月1日)	
					平 年	前 年
あきたこまち	5月10日	移植直後	草丈 (cm)	－	22.4	24.8
			茎数 (本/m ²)	－	76	78
			葉色 (GM)	－	32.5	33.5
			葉令	2.1	4.7	5.3
コシヒカリ	5月10日	移植直後	草丈 (cm)	－	25.4	30.7
			茎数 (本/m ²)	－	93	82
			葉色 (GM)	－	30.2	31.4
			葉令	1.9	4.8	5.3
ハツシモ岐阜 S L	5月10日	移植直後	草丈 (cm)	－	26.4	29.8
			茎数 (本/m ²)	－	84	93
			葉色 (GM)	－	31.5	34.4
			葉令	2.3	4.9	5.5

※岐阜県農業技術センター調

3 栽培上の留意点

(1) 健苗の適期移植

根張りや苗揃いが良い健苗は田植後の活着が良好で、その後の分けつも旺盛なため穂数の確保が容易となります。

①適正な栽植密度

品種の特性などを考慮したうえで栽植密度を決定する。密植は疎植に比べて面積当たりの茎数や穂数は多くなるが、有効茎歩合は低下する。やせ地・少肥栽培・早生品種・穂重型品種・晩植・寒冷地などでは密植とする。

表2－水稻の栽植密度の目安

1坪あたり株数	1 m ² あたり株数	条 間	株 間
50 株	15 株	30cm	22cm
55 株	17 株	30cm	20cm
60 株	18 株	30cm	18cm

②植傷み防止

移植時に強冷風が予想される場合は田植を中止する。また、移植後に低温や強風が心配される時には、深水にして苗を守る。

(2) 雑草対策

前作や水田内の雑草種子量を考えて、除草体系や除草剤を選択し、雑草の発生速度（葉齢）に合わせて使用時期を決める。一般的な初中期一発除草剤は、土壌表面に薬剤成分の処理層を形成するため、代かき作業により水田の均平化を図ると共に畦塗りにより、水持ちを良くする。

特に、気温が高いと雑草の発芽や生育が早くなるので除草剤の使用適期を逸しないよう注意する。また、除草剤散布時及び散布後1週間ほどは湛水状態にしておき、かけ流しや落水をしない。

その後、水稻の生育期に雑草が発生してきた場合には農薬使用基準及び雑草の草種を踏まえ、中期除草剤を使用する。

(3) 水管理

田植直後の湛水管理を終えると、根張りを良くすると共に根の活力を高めるため、落水と湛水を繰り返す「間断灌水」へと移行する。その後、有効茎数を確保したのち硫化水素などのガス抜きと同時に酸素供給を目的として「中干し」を行う。水管理は生育期間全般を通して、重要な管理作業となる。

<暖冬に伴うジャンボタニシ被害拡大に注意>

ジャンボタニシは、正式名称を「スクミリンゴガイ」といい、南米原産の外来生物で主に植物質をエサとしている。

ジャンボタニシは寒さに弱く、土中に潜り越冬するが冬の気温により生存率が変動するとされている。今年1月～2月は気温が高く経過したため、ジャンボタニシの越冬数が多いと推定されており、田植後の食害が懸念される。

ジャンボタニシの対策は、未生息地域に持ち込まないこと、生息地域では、色々な技術を組み合わせて実施する事が重要となる。



図1ージャンボタニシ成貝

【稲作での対策】

- 水口や水尻に目合5mm程度の網や金網を設置して水田内への侵入を防止する。
- 田植後にメタアルデヒド粒剤、磷酸第二鉄粒剤などの薬剤を散布する。
- 田植後20日間くらいまでに食害を受けるため、できるだけ浅水としておく。
- 水路法面や畦畔で卵塊を発見した時は、卵塊がピンク色のうちに掻き落とし、水没させる
- 用水や水田内に生息している成貝の捕獲
- 厳冬期（2月）の耕起 → 土中のジャンボタニシを地表に掘り上げて、寒さに当てる。

【ジャンボタニシの被害が少ない栽培体系】

- ・2年3作体系（稲－麦－大豆）・・・長期に渡る、畑地状態
- ・水稻の乾田直播栽培・・・当初の乾田状態と硬い苗質